

小美玉市の歴史を知ろう⑫

小美玉市西部を通過している国道六号は、東京都中央区を始点とし、宮城县仙台市を終点とする345キロメートルの国道です。国・県・市道に限らず、明治時代中期以降の路線名には、国道六号のように番号が振られるようになります。このことは、明治十八年、内務省告示第六号別表「國道表」以下のように定められたことに始まります。

「一路線中前號路線ト相通用スヘキ者（例へハ第貳號東京ヨリ大坂港ニ達スル路線中其神奈川驛迄ハ第壹號東京ヨリ横濱港ニ達スル路線ト同線ナル如キ類）ハ之ヲ略シ其番號ヲ記ス【抜粋】これにより、東京から水戸までを国道十四号、水戸から宮城県に至る区間は、国道十五号となりました。その後、大正九年施行の旧道路法に基づいて、東京—水戸—仙台に至る路線は、一括して国道六号となり、昭和二十七年、新道路法においても、そのまま一般国道六号に認定されました。

番号を振り分ける前の道路には、地名が冠されることが多かつたようですが。そもそも、道路とは、二ヶ所の地域を線で結ぶものですから、東名高速道路（東京—名古屋）のように、始点

と終点の地名を組み合わせて呼称することがあります。また、ある地域から、その道路が向かう地名を呼称する場合もあります。この例としては、水戸街道があります。つまり、水戸街道とは、「江戸の人々が水戸に向かう道」との意味で名づけられました。反対に水戸の人々からすれば、「江戸に向かう道」ですから、江戸街道となります。したがつて、江戸から放射線状に街道は整備されたので、地方には、多くの江戸街道と称する街道がありました。

江戸時代、水戸街道は、東海道などの五街道に準じる脇街道として整備され、江戸日本橋を基点として水戸まで丁（約一一六キロメール）の距離があります。街道沿いには、十九の宿場があり、小美玉市内には、竹原宿と片倉宿が所在していました。宿場には、人馬の継立を行っており、宿場や休憩や宿泊の場である本陣、旅籠などが街道沿いに立ち並んでいました。継立とは、宿場ごとに人馬を付け替えて、リレー形式で荷物を運ぶことであり、宿場で荷物を交代する場所を問屋場と言いました。このような荷物を次の宿場に運ぶ労務は、人馬が不足した場合、宿場の近郷の村に徴発されようになります。最初は臨時的なものでしたが、次第に恒常化しています。これを「助郷」と言いました。この助郷制度は、助郷を請け負った村々で大きな負担となつて、農村が困窮する原因となつてしまっています。

余談ですが、国道六号を陸前浜街道と呼ぶことがあります。この名称には、明治元年、陸奥国（むつのくに）の一部が、陸前国（りくぜんくに）として分割されたことにより、「東京から陸前国岩沼までの太平洋岸の街道」との意味がありました。



国道6号（堅倉地区）

文部科学省所管 日本ボールルームダンス連盟認定

ダンス アカデミー美野里

会員募集中！初心者・中高年者大歓迎！
健康増進・メタボ対策にもどうぞ

社交ダンス 教室

小美玉市江戸 165-3 ☎ 0299(48)2568
JBDFプロダンス インストラクター 半澤・松本
<http://dance-minori.hustle.ne.jp/>

自動車のガラス交換します！

新品も！中古も！純正品も！現金特価

自動車の保険ご利用の手続きも致します。

電話22-3740 株式会社 みながわガラス

石岡市国府7-8-1 【6号国道恋瀬橋北交差点角】